



# グリップヒーター HG/SP 取り付けについて JLNIN530G1, JJNIN530G2, JLZ25530G1

適合車種：NINJA250 (EX250L, P, Y)、NINJA400 (EX400E, G, L)、Z250、Z650RS

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用の前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



**警告** ※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

## ●接続する前に（重要）

セット内容に不備が無いかを確認してください。  
また、本説明書に記載の無い各部のボルト、ナットの取り外し方については車両のサービスマニュアルを参考にしてください。

## ●構成部品●

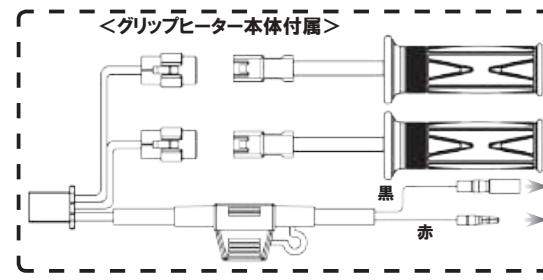
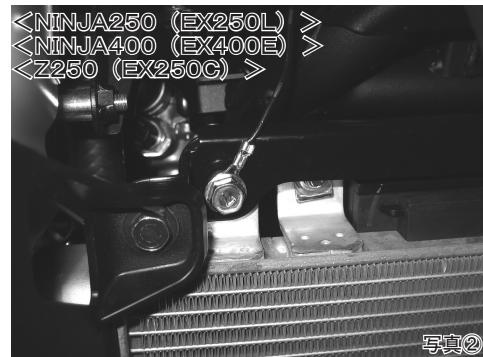
- ・専用スロットルパイプ・・・1個
- ・電源ハーネス・・・1本
- ・アース線・・・1本
- ・メーターステー (HG・NINJAのみ)・・・1個
- ・書類・・・1部

## ①配線の接続について（図①）

付属している電源線のプラス側はFRブレーキランプスイッチ部から（写真①）、アース線はNINJA250 (EX250L) およびNINJA400 (EX400E)、Z250 (EX250C) はラジエター上部のステー部（写真②）、NINJA250 (EX250P / EX250Y)、NINJA400 (EX400G / EX400L)、Z250 (EX250P) はホーンの取り付け部（写真③）、Z650RSはヘッドライト下部ブラケット（写真④）から取って接続します。

※アース部は塗装をヤスリやサンドペーパーで剥がしてから取り付けします。

このとき、左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。問題無く動作すれば、グリップとスイッチはいったん外します。



ラジエター上部ステー  
などに共締め

黒 ブレーキランプ  
スイッチ線に接続

接続ハーネス

ブレーキランプ  
スイッチ本体へ

図①

## ②純正グリップの取り外し

左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着しているボンドをペーツクリーナーなどできれいに取り除きます。

## ≪NINJA250、400への取り付けについて≫

### ③スイッチ部の取り付け

#### <HGの場合>

付属のステーをマスターシリンダーホルダーに固定します。（写真⑤）  
→このとき、ボタン操作の邪魔にならない位置にクランプしてください。  
両面テープで制御スイッチを固定します。



写真⑤

#### <SPの場合>

グリップヒーターを取り付ける前に、リングタイプスイッチをハンドルパイプの左側グリップ部に差し込んで固定します。  
→このとき、車両の操作の邪魔にならない位置に固定してください。

## ≪Z250、Z650RSへの取り付けについて≫

### ③スイッチ部の取り付け

#### <HGの場合>

付属のステーをハンドルパイプに固定します。（写真⑥）  
→このとき、ボタン操作の邪魔にならない位置にクランプしてください。  
両面テープで制御スイッチを固定します。



写真⑥

#### <SPの場合>

グリップヒーターを取り付ける前に、リングタイプスイッチをハンドルパイプの左側グリップ部に差し込んで固定します。  
→このとき、車両の操作の邪魔にならない位置に固定してください。

#### ④左右グリップの取り付け（参考例）

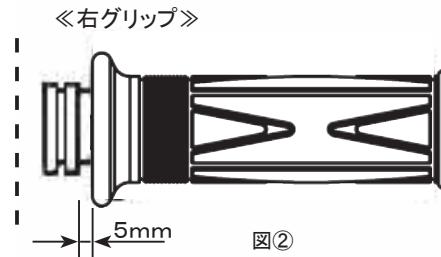
##### <SPの場合>

グリップヒーター本体の説明書を参考に、スペーサーを先に入れてからグリップを取り付けしてください。

##### <以下、HG、SP共通>

グリップヒーターの配線位置を間違えないようにグリップヒーターを差し込みます。このとき、グリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。また、右グリップは図②のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。

**▲ 注意**  
左右のグリップ共にグリップから出ている配線の位置を確認してから取り付けしてください。また、右側はスロットルを回した時に配線には絶対負荷がかからないようにしてください。グリップから配線が出ている部分は弱く、断線して破損してしまう恐れがあります。



#### ●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に**1分以上**は暖めないでください。（特に右側）。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離した状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

#### ⑤配線のまとめ（参考例）

左右グリップの取り付けが終わったら、右グリップの配線はスロットルケーブルに沿うように、左グリップの配線は純正スイッチBOXの配線に沿うように通してのグリップヒーターハーネスのカプラーに接続します。

また、配線の長さが余ってしまっている部分は純正のメーターステー部にタイラップなどでまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かしてハーネスに力がかかるしていないか、ハンドル操作、レバーの操作の邪魔になっていないか、スロットル操作の邪魔になっていないかどうか確認します。

※このとき、ハーネスのカプラーやギボシ部は防水ではないので配線テープ等を巻き付けて防水処理を施してください。  
(写真⑦)



#### ⑥取り付け完了

ステー部にメーターを固定して、取り外した部品を元に戻します。

その後、グリップヒーターの動作確認をします。問題なく温まつたら、カウルを元に戻して取り付け完了です。

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上のイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625  
endurance-parts.com

2024.12.04